



いちのへ社協だより

# ゆいっこ

vol. 98

2019/11/22 発行

## CONTENTS

日赤活動資金・社協会費 納入実績報告	2
歳末たすけあい運動	3
できごとフラッシュ	4~5
つながる地域つなぐて・と・て part 3	6
社協からのお知らせ	7
相談日程表 etc	8

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。





# 歳末たすけあい運動

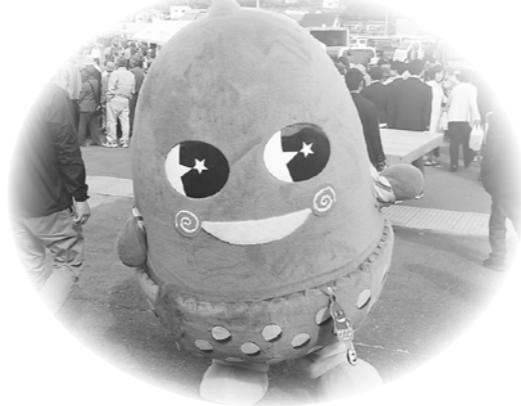


今年も「歳末たすけあい運動」が始まります。皆様からお寄せいただいた義援金は、寝たきりや一人暮らしの高齢者、身体の不自由な方、福祉事業団体などへと配分されます。

「歳末たすけあい運動」は、町の人みんなが助け合い、みんなで支えあう「福祉のまちづくり」を目指す運動です。ひとりひとりのやさしさが、私たちの住む町をもっと優しくしてくれます。今年も温かいご協力をお願いします。



岩手県共同募金一戸町共同募金委員会  
一戸町社会福祉協議会  
一戸町民生児童委員協議会



令和元年12月1日～12月27日

令和元年度の目標金額

3,480,000円

義援金の使いみち

配分金額 3,350,000円

事務費 130,000円



## 歳末たすけあい運動のスケジュール

12月1日  
募金活動スタート  
民生委員、班長等がお願いに上がります。

12月13日  
募金納入期限  
一戸町共同募金委員会で募金の取りまとめ  
配分対象者決定

12月23日  
対象者へ義援金をお届け



血液事業

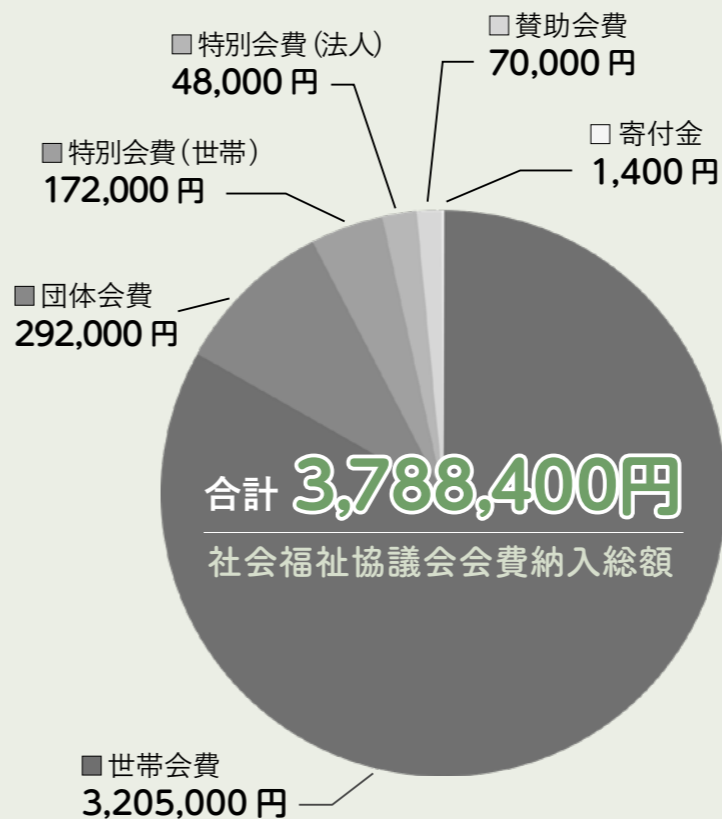
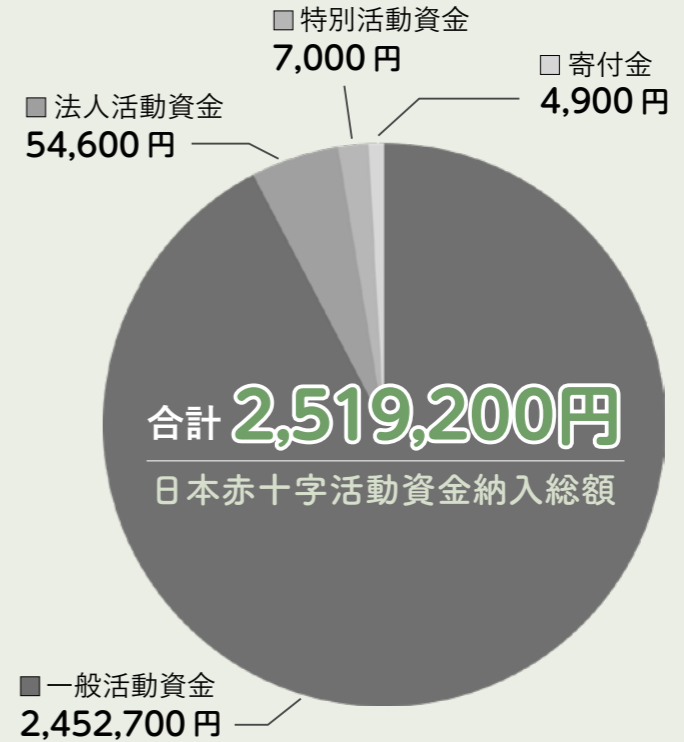


自動体外式除細動器 (AED) 設置



災害時救援物資の備蓄

皆様から頂きました活動資金は、日本赤十字社活動の資源として各種事業（国内災害救援活動・国際活動）社会福祉活動の推進（他）の支援活動に役立てられます。《一戸町社会福祉協議会は、日本赤十字社岩手支部一戸町分区の事務を行っております》



社会福祉協議会会費は、一戸町の福祉のまちづくりのため、社会福祉協議会で行っている事業（チャイルドシート無料貸し出し事業・ふれあい・いきいきサロンの活動支援・長寿祝い品贈呈（他）の財源として活用させて頂きます。



長寿祝い品贈呈事業



ふれあい・いきいきサロン活動助成事業

# 納入実績報告

今年度も町民の皆様より多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

日赤活動資金・社協会費



## 認知症セミナー

### in いちのへ

オレンジカフェさくららの会（柏葉英美代表）と一戸町地域包括支援センターが主催する「認知症セミナー in いちのへ」が、9月28日一戸町コミュニティセンターで開催されました。



オレンジカフェ代表丹野智文氏による基調講演

オレンジカフェ代表丹野智文氏による「認知症とともに生きる」認知症当事者からのメッセージの講演、VR（バーチャリアリティ）認知症体験などが行われ、町内外から200人を超える来場者で会場はいっぱいになりました。また医療福祉専門職による相談、一戸高校と岩手県立大学の学生や住民ボランティアによるバルーンアートやハンド&ネイル等の体験、障がい者福祉施設による飲食品の販売なども行われ、高齢者から子どもまで楽しめるイベントとなりました。



200名程の来場者が訪れ、講演や報告など熱心に耳を傾けていました。



認知症を映像などで体験できるVR研修



岩手県立大学や一戸高校の学生によるボランティア

## 「豊かな郷土食」「笑顔と健康」で、地域とのネットワークを広げよう!!

9月25日、一戸町母子寡婦福祉協会（高橋カヨ会長）が主催する「健康生きがいきり推進事業」が開催されました。午前中の調理実習で作ったけんちん汁などの郷土食を、昼食時に参加者全員に振舞われ会食しながらの交流となりました。

光寿苑太田宣承苑長によるテンポの良い講話に、会場は終始笑いに包まれ楽しみながら「長寿の秘訣」を学びました。



光寿苑太田宣承苑長による講話

## 摺糠地区収穫祭開催

摺糠地区収穫祭（摺糠自治公民館本誠館長）が10月6日、元摺糠小学校校庭で開催されました。

地区ごとに割り当てられて調理したお餅や豚汁、焼き鳥、ポップコーンなどのお振舞い、マジシャン「Yoshiaki」によるマジックショー披露など会場は大いに盛り上がりしました。

摺糠地区収穫祭は今年初めて一戸町社会福祉協議会のゆいっこ助成金を活用して実施し、0歳から80代まで4世代にも亘る住民同士の多世代交流を深めました。



（右上/下）世代を越えた交流を楽しむ地域住民  
（左上）マジシャン「Yoshiaki」によるマジックショーは盛大に盛り上がりしました。

## 一戸町子育てサークル「いちのへ」始動開始

今年9月に設立された一戸町の新しい子育てサークル「いちのへ」の第1回目の活動が、10月15日に開催されました。

一戸町民文化センター講座室を会場に、おさがり交換会やフリーマーケット、ハンドメイド布小物のオーダー販売、アロマ体験などが行われ、多くの子ども連れのママ、プレママ（妊婦）など近隣市町村から30人以上が参加しました。ママ同士の交流や日常から離れた癒しの時間など、思い思いに楽しみました。



町内外から多くの親子が訪れました。

## ハロウィン2019 in 気まぐれ工房め〜め〜亭

10月31日、気まぐれ工房め〜め〜亭（戸田睦子代表）、ECC英語教室奥中山教室（徳永映子講師）共催によるハロウィンイベントが奥中山駅前通りを中心に行われました。英語教室に通う子どもたちと近隣に住む子どもたち総勢30名程のちびっこオバケが、自分たちで作ったお菓子ボックスを持ち、英語の歌を夜空に響かせながら通りを練り歩きました。「トリックオアトリート！」を合言葉に商店や高齢者宅13軒を訪問、出迎えてくれた地域住民の笑顔が印象的でした。



夜間静かな中山駅前通りが子どもたちの歌声と住民の笑顔で賑やかな夜となりました。

## 赤い羽根共同募金運動街頭募金 in 産業まつり

10月19日「いちのへ秋の産業まつり」において、一戸高校の生徒4名の協力のもと、赤い羽根共同募金運動街頭募金を行いました。悪天候にも関わらず、会場を訪れた方から多くの募金をいただき、募金総額は4677円でした。善意のご寄付に感謝申し上げます。また、募金活動にご協力いただきました一戸高校生徒の皆さんありがとうございました。



募金活動に取り組む高校生

## 一戸高校ふれあい体験学習

10月29日、中山の園（伊藤信一所長）ご協力のもと「ふれあい体験学習」が開催されました。

この事業は一戸町社会福祉協議会が一戸高校介護・福祉系列の2年生を対象として、障がい及び福祉施設への理解を深めることを目的として毎年実施しているものです。当日は生徒12名が参加し、障がいのある方とのふれあいや施設職員との意見交換が行われました。参加された生徒は「障がいのある方から教えてもらうことも多く、貴重な体験だった」などと話していました。



障がい者と交流を通して積極的に学ぼうとする高校生

## 第2回一戸町訪問助け合い活動 ボランティア養成講座

11月5日、6日に「第2回一戸町訪問助け合い活動ボランティア養成講座（主催一戸町地域包括支援センター）」を行いました。各地域からサロン活動などの代表者等計24名が受講しました。

2日間全日程を受講した18名には一戸町地域包括支援センター村中昭二所長より修了証が手渡され、第1回と合わせて計25名のボランティアが誕生しました。今後地域に偏りなく担い手が増えていくことを期待しています。



ゲームを通じて会話が盛り上がる受講生





# 社協からののお知らせ



生活・しごとの困りごとなどについて相談してみませんか？

二戸市社会福祉協議会ではくらしの相談窓口を開設しており、出張相談会を開催します。「就職しても長く続かない」、「収入はあるが、借金があり生活が苦しい」、「人とのコミュニケーションが苦手だ」など内容はなんでもかまいません。お気軽にご相談下さい。

**日時:**令和元年 12月13日(金)

**場所:**一戸町総合保健福祉センター

**相談方法:**相談料は無料です。

事前のお申し込みは不要です。(事前に連絡することも可能です)

**問い合わせ先**

二戸市社会福祉協議会くらしの相談窓口

☎ 0195-43-3588



「おげんき・みまもりシステム」のご案内

遠方に暮らす高齢のご家族が心配になることはありませんか？

社会福祉協議会では一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを対象に、電話機を利用した見守りネットワークサービスを行っております。ご利用者様から発信して頂くことにより、遠方にお住まいのご家族や社会福祉協議会が休日夜間問わず安否確認メッセージを受信することができます。利用に際し特別な機器の設置は必要ありません。

その他詳細は、下記までご連絡下さい。

**問い合わせ先**

一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385



日常生活自立支援事業(あんしんねっと)のご案内

社会福祉協議会では、高齢の方や障がいをお持ちの方が地域で安心して生活することができるよう、日常の金銭管理や福祉サービスの手続き等のお手伝いを行います。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

**サービス内容:**福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等預かり等

**利用料:**1回1時間当たりおおむね1,300円(相談は無料)

**問い合わせ先**

一戸町社会福祉協議会 ☎ 0195-33-3385



第38回福祉バザーを開催します

今年度も福祉バザーを下記の通りに開催します。当日は町民の皆様からご提供頂いた出品物の販売や福祉施設で製造している商品の販売を行います。出品物のご提供については、1月中旬ごろにお願いのチラシを町内各世帯にお届けしますのでご参照ください。

福祉バザーは、町民の皆様への福祉活動への理解及び協力を通じた地域福祉活動の推進目的に毎年行っております。皆様のご協力、ご来場お待ちしております。

**日時:**令和2年2月7日(高齢者作品展と同日開催)

**会場:**一戸町民体育館

**問い合わせ先**

一戸町社会福祉協議会 ☎ 0195-33-3385



平成30年度第37回福祉バザーの様子



赤十字出張講習会を行っています

日本赤十字社岩手県支部では、救急法などの内容の一部を地域や職場、学校等において出張講習会を行っています。サロン活動や町内会、公民館活動などでぜひご利用ください。

**講習時間:**2時間程度

**講習内容:**救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法の内容の一部

**費用:**場合により費用が発生する場合がありますのでご相談ください。

**受講人数:**10名以上よりお受けします。

**問い合わせ先**

日本赤十字社一戸町分区(一戸町社会福祉協議会内)

☎ 0195-33-3385



# つながる地域 つなぐて・と・て part3

姉帯第一行政区ボランティアの会

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい！！社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。



姉帯第一行政区ボランティアの会のメンバー (上段 中村明美さん、下段左 小野寺喜美子さん、右 中村タチエさん)

「できる人が、できるときに、できることを」  
平成5年頃、一戸町は高齢化や出生率低下、核家族の進行などの問題が深刻化、家庭や地域が従来持っていた互助機能の衰退など高齢者の生活に大きな影響を及ぼしていました。これらを受けて、当協議会では「福祉ボランティアのまちづくり事業」を実施することになります。この事業が、今回紹介する「姉帯第一行政区ボランティアの会」(代表小野寺喜美子様)発足のきっかけとなりました。  
当時の民生委員の声がかけて、40代の女性9名が自然に集いスタートしました。モットーは、「できる人が、できるときに、できることを。」活動計画は立てず、活動内容もそれぞれ。その人ができることを、その人のタイミングで活動していきます。事務係も交代制です。決して代表

活動開始当初は、善意の活動をよく思わない地域住民がいたり、否定的な意見もあったようです。少しでも理解してもらえようと、地域住民へ説明をしながら活動を継続すること早27年。地域住民の皆さんも活動を楽しみにするようになりました。  
これまで声をかけてきた1人暮らし高齢者が亡くなると、その家と地域とのつながりは薄くなってしまいうことも多い中、メンバーは亡くなった1人暮らし高齢者の家族との交流を続けています。「そこに誰も住んでなくても、家族にとって故郷はここだけ。帰る場

## 長年継続してきたことで得られた地域からの信頼

者や特定の人に任せません。活動の頻度は2ヶ月に1回程度。空き家や公民館の除草、野菜の苗配り、手作り彼岸団子の配布などの活動をこれまで実施してきました。「彼岸団子を届けると、丁寧に床に手をつき『ありがとうございました。』と深々と頭を下げてくれる人もいて。活動の励みになります」とメンバーの皆さん。



冬期間は地域住民20名以上を集めて、月1回昼食会を開催。お料理上手なボランティアの会のメンバーが用意する豪華な食事を、参加者は楽しみにしている。



高齢者世帯への配布用に作られた50個を超える彼岸団子。両手から溢れるほど大きな団子は、ボランティアの会の皆さんの心の大きさが現れているようだ。

所を残しておいてあげたい。」そんな思いから、お盆やお正月、お彼岸など空き家となった実家に帰省した家族に声をかけ続けます。  
社会背景の変化で担い手が不足し地域からの理解を得られにくくなることは当然あります。それでも活動を継続するために、責任を1人押し付けない、メンバーが無理なく自主的に活動を行うことが重要だと感じました。

# 各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	12月10日(火) 12月24日(火)	12月17日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	1月14日(火) 1月28日(火)	1月21日(火)		
	2月10日(月) 2月25日(火)	2月18日(火)		
	3月10日(火) 3月24日(火)	3月17日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800 ※要予約		二戸市総合福祉 センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉 センター内) TEL 33-3385

## 寄付御礼



(令和元年9月14日～11月20日取り扱いは分)

### 令和元年台風19号災害義援金

一戸町商工会 (会長 中村善雄様)  
金 20,219円 也

頂きました義援金は、岩手県共同募金会を通じて全額被災地の方々へ届けさせていただきます。ありがとうございました。



## 災害義援金募集のお知らせ



社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を下記の通り受付しております。頂いた義援金については、岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 令和元年台風19号災害義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

### 令和元年台風15号千葉県災害義援金

(受付期間：令和元年12月30日まで)

### 令和元年8月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年2月28日まで)

### 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

### 平成28年熊本地震義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

### 東日本大震災義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

### 平成30年度7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年6月30日まで)

各種災害義援金については一戸町社会福祉協議会 (TEL 33-3385) までお問い合わせください。

## 編集後記

スポーツの秋、食欲の秋、文化の秋…秋はイベントが盛り沢山。町内あちらこちらで魅力的な事業ばかりで、すべてを記事に載せきれないことが悔やまれます。どんな小さな出来事でも、むしろ小地域の些細な出来事を、ゆいっこでは取材していきたいと思っていますので情報をお寄せください。

楽しい事がたくさんあった秋、その一方で今秋も台風が多く発生し、大きな自然災害に見舞われた地域がありました。被害にあわれた皆様には、謹んでお悔やみ申し上げます。今年も残すところ1か月ちょっと。来年は大きな災害が起きない1年でありますよう祈っています。(小野寺)

## 社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5321 一戸町一戸字砂森93-2(一戸町総合保健福祉センター内)  
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737  
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>



## 表紙の紹介



姉帯第1行政区ボランティアの会(小野寺喜美子代表)の皆さん。「できる人が、できるときに」をモットーに長年に亘り、地域のために自主的な活動を続けてこられました。(P6参照)